

兵庫県水産技術センターだより

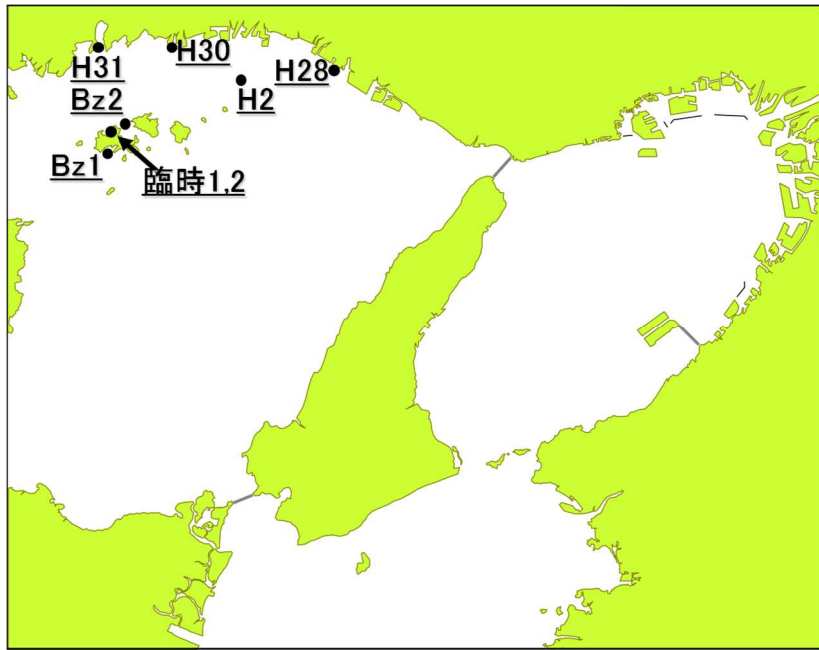
赤潮情報 AK-02-12号 (播磨灘北部：臨時)

令和2年8月17日発行

8月17日に赤潮プランクトン調査(播磨灘北部：臨時調査)を実施しましたので、その結果をお知らせします。

【概況】

- ・警戒が必要な細胞密度を上回っている調査地点・層はありませんでしたが、引き続き、魚類を斃死させる有害赤潮プランクトン(シャットネラ・オバータ)がやや多く発生しています。魚類養殖、活魚の運搬や畜養、漁船の航行には十分にご注意ください。
- ・今後とも海況や海色の変化にご注意願います。



注意が必要な赤潮プランクトンの密度

シャットネラ・アンティカおよびマリーナの合計値	注意体制： 10細胞/ml	警戒体制： 100細胞/ml
カレニア(ギムノディニウム)・ミキモトイ	注意体制： 500細胞/ml	警戒体制： 5,000細胞/ml
ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ	注意体制： 50細胞/ml	警戒体制： 500細胞/ml

※シャットネラ・オバータについては本県では基準密度を設定していませんが、同属のシャットネラ・アンティカ、マリーナと同等の注意や警戒をお願いします。

赤潮プランクトン調査結果 (海水1ミリットルあたりの細胞数)

調査地点	水深(m)	ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ	カレニア(ギムノディニウム)・ミキモトイ	シャットネラ・アンティカおよびマリーナ	シャットネラ・オバータ	シャットネラ・グロホサ	シャットネラ・ベキユロサ	ココロディニウム・ポリクリコイデス	ヘテロガマ・アガオ
Bz1	0	0	0	0.7	32.7	0	0	8.0	0
	5	0	0	0	44.0	0	0	0	0
	10	0	0	0	36.0	0	0	0	0
	B-1	0	0	0	2.0	0	0	0	0
Bz2	0	0	0	0.7	12.0	0	0	0	0
	5	0	0	0	51.3	0	0	0	0
	10	0	0	0	79.3	0	0	0	0
	B-1	0	0	0	0	0	0	0	0
臨時1 (西島北側・湾奥)	0	0	0	0	16.0	0	0	0	0
	5	0	0	0	34.0	0	0	0	0
臨時2 (西島北側・湾口)	0	0	0	0	17.3	0	0	2.0	0
	5	0	0	0	34.7	0	0	2.0	0

【今後の調査予定】 次回は8月20~21日に定期調査(大阪湾・紀伊水道)を予定しています。調査結果がまとまり次第、「赤潮情報AK-02-13号」として発行予定です。

お問い合わせ先 兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター (担当：水産環境部 宮原、中桐)
Tel : 078-941-8602 Fax : 078-941-8604 Homepage : <http://www.hyogo-suigi.jp/>